

大錦画新話第七号

大永堂 裡昇誌

小松屋 佐五郎

阿波文板  
カトラ

下総国海上郡

飯沼村 五良松

妻がやみの三川村の卯之助

と蜜通しつて卯之助を去年四月より

活計の爲に飯沼村へ雇はせて行魚主の誰をたづね

會活て早おの文落と約束するが同村ニ之助から

貰ひ五月つる女子が邪魔ありと捨てる世話と下思ひ濱の

真砂のたづねも縁もなれ知子を海へおこし二人は未自浪と

逃ぐれと思ひを胸の石もいもま引きておやつ卯之助を別として

十三年の秋に友儀が内事願ひて遠く紳せも懲役の罪おせし

目と新どん  
九百五十四号

